

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	セカンドプレイス株式会社 セカンドプレイス			
○保護者評価実施期間	2024/11/30		～	2025/1/30
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	40人	(回答者数)	30枚
○従業者評価実施期間	2024/11/30		～	2025/1/30
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	R7年2月10日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもたちが期待を持って通所できている。行って楽しかったという声が聞ける。利用を重ねて少しずつ学校でも落ち着いてきている。	セカンドプレイスに来所した際は自己決定、自己選択を尊重し子どもたちで活動を作って聞くことを支援しています。また、苦手な場面は支援者と一緒に言葉にして伝えることで少しでも頑張れる力や相手に苦手を伝える力、回避する力を身につけます。	今後も引き続き、子どもたちが笑顔になれる場所作りに取り組みます。
2	保護者様イベントの参加や送迎時など日頃の関わり方や今後の関わり方もリアルタイムでお伝えしやすい。また、困りごとに関して対応方法を電話やLINE等を使いお伝えする事ができる。	日々子どもたちと一緒にいて困り感も多く感じていらっしゃる保護者様の発信はなるべく早く対応し困り感が少しでも軽くなるような対応方法や環境調整、事業所と一体となって取り組める支援等を一緒に考えられるようにスタッフと共に周知している。	今後も引き続き、保護者様に寄り添い子どもたち中心に支援できるよう取り組みます。イベントではセカンドプレイスに関わるすべてのみんなが笑顔になれる取り組みを思考し続けていきます。
3	放課後等デイサービスを利用する児童の一部に、今の現状を理解してもらえるような、支援者と保護者と子ども本人による面談を開催している。	放課後等デイサービスをずっと利用する事が目的とならないよう社会に出ることを大きな目標とできるような前向きな面談にしている。子どもたちの現状を理解することで行動も大きく変化していくこともねらいとしてある。	発達特性に合わせて面談ができる児童(すべての児童)に対して実施していく。目標を作ることで子どもたちの成長を保護者さまと一緒に期待する。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	発達特性や環境要因、感覚過敏鈍麻などのフォーマルな評価やインフォーマルな評価	児童の特性理解を深める為やどの支援者でもその子の発達特性の理解が深まる客観的な視点を拡大させる。	子ども達の特性理解の為のフォーマルな評価の検討。
2	家族会等の開催が保護者様のわかるような形で行われていない。保護者参加型のイベントも行われていることは周知されつつもあるが参加に戸惑う利用者様もいらっしゃる。	保護者会ほどこっちとした会の開催は希望していない声もあり、保護者様参加型のイベントを昨年度より積極的に取り入れつつ計画を立てているが、イベントの告知タイミングが遅れてしまったりする点もあった。	事前に計画立てているイベントでは年間計画を年度はじめに告知するなど等の保護者様も参加の計画が立てやすい形の告知へ工夫する。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 セカンドプレイス株式会社 セカンドプレイス

公表日 R7年2月28日

利用児童数

40人

回収数

30枚

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	29	1				
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	27	3				
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	27	3			靴箱の近くに手すりがあると本人が自分で立って行動できると思う。スタッフの皆様の負担軽減になるかもしれない。	ご意見ありがとうございます。私たちの支援は子どもたちの為にモットーに支援をしております。スタッフの負担軽減を話してくださり大変嬉しいのですが、ご本人様にとって何がベストかを今一度分析してスタッフ間で共有して検討して参ります。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	29	1			清潔感があつて良い。	引き続き、関わるすべての皆様が安心して来所できるように努めて参ります。
適切 な 支 援 の 提 供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	29	1			○丁寧にしてくださっている。○対応方法が参考にしやすい。○親子療育があつて様子を見ることができて良かったです。	安心して支援を受けられるように、引き続き努めて参ります。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	30					
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	30				本人に合わせた対応をしてくださっている。（男女比・曜日変更等）	お子様のニーズに合わせた支援を引き続き行なって参ります。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	27	3				
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	30					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	27	3				
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	20	9	1			
保 護 者 へ	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	29	1				
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	30					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	25	2	3			
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	28	2				
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	25	4	1			電話やLINE・直接など対応して下さる。話して良かったと思って頂けるように心がけております。引き続きよろしくお願ひ致します。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	30					

の 説 明 等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	30				療育に行っていないきょうだいも参加可能なイベントもあるので、イベントに家族で参加しやすい。	更にご家族を巻き込んだイベントの開催ができるように努めて参ります。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	26	4				
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	29	1			親と子の面談を実施して、現状のすり合わせができています。	必要に応じて面談実施をしております。引き続きご要望に合わせた形やごちからから提案できるよう信頼関係の構築をして参ります。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	23	7				
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	30					
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	26	4				
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	26	4			数回の避難訓練に参加している報告を聞く。	年に2回の避難訓練を実施しております。参加できなかった際には、話し合いの中でも事故発生に備えて話をしております。引き続き安心して利用ができる体制を整えて参ります。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	29	1			支援時間に自然災害があった際に迅速的目つ丁寧フォローして下さり感謝でした。	保護者の皆様・お子様方が安心できるように引き続き努めて参ります。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	30					
満 足 度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	28	2				
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	28	2			○「行きたくない」と言いつつも帰宅後は「楽しかった」とニコニコです。○子どもが親しみ、期待を持って通所している。	○ご意見頂きありがとうございます。お子様の行き渋りに早く対応できるように分析して対応して参ります。○温かいお言葉ありがとうございます。引き続きよろしくお願致します。
	29	事業所の支援に満足していますか。	30				○親子にとって安心できる場所。○少しずつ学校でも落ち着いて過ごせるようになってきている。今後ともよろしくお願致します。	関わるお子様のニーズに合わせて対応を変えていながら更なる成長を感じられるように支援して参ります。引き続きよろしくお願致します。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		セカンドプレイス株式会社 セカンドプレイス		公表日 R7年2月28日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		体つきが大きくなる事で1階と2階を上手く活用している。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5		適切である。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5			手洗い場を自動から手動に変えた方が終わりが明確だと思う。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		毎日全フロア掃除をしている。ご利用児童と一緒にお手伝い活動を支援の中で入れ込んでみんなで綺麗にしている仕組み化ができています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		気持ちが崩れた時に落ち着く部屋の活用をしている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5		スタッフ間で記録の書きかた研修を実施して記録が適切に書けるようにしている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		毎月のイベント実施。	親子イベントが事業所評価の何に特化した部分なのかをアピールしていく。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		放課後等デイサービスが始まる前に目標と設定と前回の気になる部分を擦り合わせる事を実施している。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		5		外部評価を行い、業務改善に努めていきたい。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		様々な研修があり、常に情報をアップデートしている。	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		HPに掲載している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5		スタッフ間で検討を行い、目標を決めている。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		スタッフ間でしっかり話し合いをしている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		目標に合わせた活動展開ができるようしている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5		S-M社会生活能力検査・JSIを活用。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等サービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5		年齢や計画に合わせて設定している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		メインとサブが話し合いを行い、放課後等デイサービス前に共有している。	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		遊びレポーターBOOKを活用し、繋がりのある支援ができるようにしている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5		放課後等デイサービス前にスタッフ間で共有して必要に応じて支援をしている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		毎日、関わるご利用児童の目標を確認している。スタッフ間の役割も決める。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5		翌日に振り返りを行う。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	5			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5		毎回、活動を話し合いで決める事で自己選択自己決定を大切にしている。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。		5	あいびあ・あいかさんと連携。南九州病院様と連携。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。				
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。				
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。				
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	3		更に関わりができるようにもっと、足を運んだり、足を運んで頂けるよう仕組みに入れ込んでいきたい。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		5		学童様と交流が持てるイベントを計画実行していきたい。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	2	3		積極的に参加したい。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5			ペアトレ研修に積極的に参加したい。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	1		負担額の流れを把握して更に丁寧に説明できるように努めたい。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5		3者面談を実施して、子どもが話す機会を作っている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5			

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5		兄弟児も参加できるイベントを用意している。	
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		電話や直接ご自宅に伺い、早く行動できるようにしている。	
	42	定期的な通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		カルテ・書庫でしっかり管理している。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5			
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5		オンデマンドを受けたり、研修を開いたり等実施している。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5		契約時に確認している。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3	2	契約時に確認している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5			
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		些細なことでもヒヤリハットを共有して、同じ事を繰り返さないようしている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		年に1回研修実施。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5				